

令和2年10月8日

宍粟市長 福元晶三様

宍粟市男女共同参画推進条例検討委員会
委員長 中村和子

宍粟市男女共同参画推進条例制定に係る意見書の提出について

宍粟市男女共同参画推進条例を制定されるにあたり、当委員会において検討を行い、下記のとおり意見を取りまとめましたので、報告します。

記

- 1 男女共同参画社会基本法に基づくものであり、特に次の2つの要素について念頭に置くこと。
 - (1) 男女が、社会的・文化的に形成された性別（ジェンダー）に縛られず、各人の個性に基づいて共同参画する社会を実現していくためのシステムを実現すること
 - (2) 組織の意思決定過程の中核に女性が男性と対等に参画し、施策に女性の意見が反映されるシステムを構築すること。このことは、個人においては、一人ひとりの個性と能力が発揮でき、社会全体においては持続可能な活力ある社会への発展へ繋がる道筋になるものである。
- 2 性の多様性についての課題に対応すること。

性的指向や性自認等に基づく差別を解消し、性の多様性が尊重される社会を実現することは、男女が平等に共同参画する社会を実現することと同様に、重要な課題である。

ジェンダーに縛られない自分らしく生きることができシステムの実現をめざす本条例の中に盛り込むことは、持続可能な開発目標（SDGs）の理念である、誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて一步を踏み出すものである。
- 3 次世代へ継承する視点を持つこと。

この条例は、未来を担う子どもたちのための条例でもあり、子どもたちの教育に力を入れるという視点を盛り込んでいる。

よって、今後のまちづくり政策において、基本的な方針を規定するとともに、未来を担う子どものためにも大きな道筋を示す土台となるものである。
- 4 本条例の名称については、条例の内容を分かりやすく表すことは重要であり、委員のみなさんの意見を尊重し、次の名称を提案する。
「宍粟市男女及び多様な性の共同参画社会づくり条例」

〈付記〉

本委員会において、熱心に議論がなされた。その議論のなかで、各委員から出された様々な意見について参考のために付記する。

- 1 豊岡市が若い女性の転出の問題の根本がジェンダーギャップと関連していることを注視し、様々な取組をしている。10年後、20年後の地域がどうなっていくか、男女共同参画という考え方にもものすごく関係しているということを考えれば、キーワードのひとつは子どもの教育だと考える。
- 2 企業の立場でジェンダーレスやジェンダーギャップのことを調べてみると豊岡市の取組に辿りついた。今後において、企業の立場としてもワークライフ・バランスと教育は大事だと思っており、その根っこには男女共同参画という考えに繋がっていると思う。
- 3 男女共同参画については「女が強くなる法律だ、考え方だ」という形でしか認識されていないが、これから将来に向かって、自治会として成りたたなくなるのを危惧しているのので、条例という法的根拠をもって積極的に推進していくことが必要だ。
- 4 私が住んでいるところは限界集落である。女性と男性の役割がはっきりしていて、それが昔から続いており、それをもう当然のように考えているというか、内在化、無意識のところまで入り込んでいて、何がおかしいのかわからない方がたくさんいる。そういう人たちに、疑問を投げかけられるような、先導役になるような条例にしたい。
- 5 基本施策に、ワークライフ・バランスの項目を入れると行政から企業にアプローチがしやすくなるという気がする。それと、防災の面では避難所に男女両方の意思決定者を責任者として入れるのが望ましいというガイドラインが出ているが、実情は伴っていないので、防災の部分についてもっとアピールしていけるようバックアップが必要ではないか。
- 6 条例名でイメージが変わるので、細部を詰めるのはもちろんだが、タイトルで SOGI (ソジ) 的な内容の条例名とし、「ものすごく先進的なことをしている宍粟市」としてアピール度を意識するのもいいのではないか。
- 7 アンケートからみると、このまちの実情は、男が外で働いてお金を稼ぎ、女性が家事・育児ケア労働を担っている＝性別役割分業家族の典型的な統計になっているので、底辺の底上げがいると思う。なぜ、男女共同参画なのか、そこに力点をおいたほうが地域の実情をよく反映できるのではないかと思う。
- 8 世の中、「男女」の性別は2種類だけではないのだから、表現を「すべての人」とすると落ちつく人がいる。今は個を大切に作る時代なのだから、そこをこのところを意識するべきではないか。
- 9 SOGI (ソジ) の概念を取り入れることは、全員が当事者という考えかたであり、外せない部分である。
- 10 「男女」という言葉がすごく使われている。多様性のある言葉を使うほうが、先々の次の世代にも使える条例になるんじゃないかと思う。
- 11 宍粟市は多様な性を盛り込もうとしており、すごく革新的なことだと思うが、元にして法律が随分前に制定され追いついていない部分があるので、そこに新しい概念を盛り込もうとしたらチグハグというか矛盾が生じているように思う。もっと果敢にオリジナル性を出してもいいのではないか。
- 12 持続可能な開発目標、そういう社会があることを、知っていくこと、伝えていくことが大事だと思う。私は伝えていきたい。
- 13 SOGI (ソジ) の概念は、これから確実に子どもたちの中に必要な部分であるので学校等教えていくなかで、次の世代がまたこの宍粟市を担っていくときに条例が少しずつでも変わりながらも、やっぱり根本的に今できていない男女の不平等なところをきっちり解消していく必要があるのではないかと思う。

以上